

世界自然遺産

—奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島—

遺産地域の概要

- 面積は約4万3千ha、うち国有林野が約7割を占める
- 国有林野はシイ・カシ等の常緑広葉樹の自然林と二次林により構成
- 国有林野では、アマミノクロウサギ、ヤンバルクイナ、イリオモテヤマネコ等の固有種や希少種の生息地及び生育地となっている

林野庁の取組

- 自然環境の保護を担保するため、国有林野のほぼ全域を森林生態系保護地域※として設定
- 原生的な森林生態系や希少な野生生物が生息・生育する森林を厳格に保護・管理
- アマミノクロウサギなど希少な野生生物の保護を図るための巡視を実施
- 入林状況の把握や密猟防止、希少植物の盗掘防止に係る啓発等の取組を推進



西表島

奄美大島

徳之島

沖縄島北部

アマミノクロウサギ



ヤンバルクイナ



イリオモテヤマネコ



※ 原生的な天然林の保護・管理を目的とする保護林(国有林野の自然環境維持等を目的とする区域)の一つ